



## スーパー耐久シリーズ2011

### 第6戦 MOTEGI Super Taikyu FINAL

占有走行・公式車検 2011年11月25日(金)  
 公式予選・決勝 2011年11月27日(日)

コース：ツインリンクもてぎ  
 天候：(占有・予選決勝) 晴れ・晴れ  
 路面コンディション：(占有・予選決勝) DRY

チーム：吉田山GAMES N京都V i t z

ドライバー：山口コーイチ/樺田祐司/まさやん

吉田山工房 Netz Kyoto AS Racing



スーパー耐久シリーズの第6戦がツインリンクもてぎで開催されました。11月25日（金）練習走行、27日（日）予選・決勝と第5戦オーバルバトルとの兼ね合いもあり、車両にも厳しいレースウィークが予想されました。また前戦鈴鹿でのクラッシュにより、痛手を負いましたが見事復活の舞台をもてぎに合わせる事が可能となりました。沢山のファンの皆様。並びに参画企業様の応援あってこそその復活に感謝の意と共に御礼申し上げます。



## ■ 練習走行 11月25日

天候は晴れ。オーバルバトルを昨日消化したばかり。やはりパワーの問題もありオーバルに至ってはベストな結果はでませんでした。来年への架け橋と希望につながるロードコースでのレースには必然的に力が入ります。練習走行においてマシントラブルは皆無の#55。ドライバー3人は初めてのコースに感触を確かめつつ、練習走行を進めていきます。初参戦よりここ数戦で技術面はもちろん、勝負強さとメンタルの強化も意識したドライバー陣はますます結束が強くなり、チームワークが形になってきていると感じられます。また、前回のクラッシュの件もあり、パッケージが変わり、マシンチェックにメカニックも余念がありませんでした。

吉田山工房 Netz Kyoto AS Racing



■ 公式予選 11月27日



ST-5クラスは出走台数4台。25日の練習走行の際にクラッシュした#19 BRP☆HYPER ECU C72駆動屋FFC JSフィットRSがマシンメンテナンスを終え本戦に復帰を果たした為、正真正銘の4台での戦いの幕が切って落とされました。路面コンディションはドライ。Aドライバー山口選手より公式予選走行開始。

予選通過基準タイム 2'39.497 に対して 2'32.079 にて無難に通過。

Bドライバー樺田選手出走。予選通過基準タイム2'37.941.に対し2'33.324と好タイムで難なく予選を通過。Bドライバーとして求められた以上の好タイムに決勝への期待が高まりました。

Cドライバーまさやん選手出走。結果2'34.167と見事予選を通過しました。予選の時点で好調な樺田選手はメカニックとの相談した結果、スタートドライバーを務める事が決まりました。

今後のレース展開が非常に期待される予選となりました。

よって走行台数34台中総合32位。出走台数4台中4位にて予選を終えました。

### ◆予選総合タイム順位結果

- 1:CarNO.19 BRP☆HYPER ECU C72駆動屋FFC JSフィットRS TIME: 4'45.406
- 2:CarNO.36 エンドレス アドバン トラストVitz TIME: 4'46.449
- 3:CarNO.230 WAKO'S アクレ オクヤマ Vitz TIME: 4'54.217

4 : CarNO.55 吉田山工房N京都Vitz TIME : 5'05.403

ドライバー： 山口 コーイチ TIME : 2'32.079

樺田 祐司 TIME : 2'33.324

まさやん TIME : 2'34.167



■ 決勝 11月27日



今シーズンにおいて久しくドライコンディションが続く決勝。流石に2日間に3レースというハードスケジュールの為、多くの車両にトラブルが見られる。コース上にはオイルが捲かれていたり、車両火災など、戦々恐々とした雰囲気がファイナルレースを包む。3名のドライバーは予選の結果を踏まえた上で表彰台をも狙える位置にいる事を実感。車両はメカニックの懸命なメンテナンスが功を奏し上々である。

走行の内Aドライバー山口選手は11周ベストタイム2'37.145、Bドライバー樺田選手は16周ベストタイム2'35.551、Cドライバーまさやん選手は21周ベストタイム2'34.395。まさやん選手がロングを担当する結果となった。しかし、総合ラップタイムは速いものの、ピットストップSCタイミング。いろいろな事が重なり、最終的にST-5クラスの他車両に1LAP差のビハインドをつけられ4位にてレースを終了する。今シーズン、途中参戦よりスタート致しました#55。来年発動の『姫神ガジェット』プロジェクトに向けて、今年度は1回の表彰台を得る事が出来、またリタイヤにより多くの事を学びました。特筆すべきは1戦1戦、実践を重ねていく事度にドライバーの成長が見て取れる事です。

まずは今シーズンを多くのスポンサー様、並びにファンの皆様のお力をお借りして無事に完走にてフィニッシュ出来ました事をご報告致します。来年度も何とぞ見守り頂けますようよろしくお願い申し上げます。

- 1:CarNO.36 エンドレス アドバン トラストVitz TIME: 2:09'57.016
- 2:CarNO.230 WAKO'S アクレ オクヤマ ViZ TIME: 2:10'19.680
- 3:CarNO.19 BRP☆HYPER ECU C72駆動屋FFC TIME: 2:10'58.175

4:CarNO.55 吉田山GAMES N京都 Vitz TIME: 2:12'01.525



**■ レース後コメント****◆星名代表**

今シーズン途中からの参戦でしたが、応援頂きましてありがとうございました。ヴィッツワンメイクレース参戦ドライバーとして同じベースマシンで臨んだシーズンですが、耐久レースとしてチームワークやタイヤの使い方などなど毎戦毎戦多くの経験をしたことと思います。全てのドライバーがプロドライバーではなく、普段は会社勤めをしながらレースウィークは上手に休みを取りながらモータースポーツに参戦というチームでもありました。そこにはドライバー本人の多くの努力と周辺の方々のご協力があったので、まずは初シーズンを終えてお疲れ様ですという気持ちでいっぱいです。これからモータースポーツを盛り上げていくかどうかはこう言ったモータースポーツ好きの方々に懸かっていると言っても過言ではありません。そう言った意味ではスーパー耐久は参加型のレースとして最適であり、もっとも手軽に参加できるクラスがこのST-5クラスでもあります。我々 AS Racing は来シーズン以降も1人でも多くの方にモータースポーツを楽しんで頂けるような体制を造っていきたいと思いますので、どうぞ応援のほど宜しくお願い申し上げます。

**◆田ヶ原アドバイザー**

今年本当にいろんな方々にお世話になり立ち上げられたチームでした。本当にすべての方々に感謝です。来期ももっともっと良い結果を出したいと思っております。今後共宜しくお願い申し上げます。

**◆山口コーイチ選手**

ロードコースでは絶対表彰台を獲得するべく走りましたが・・・完走しただけで終わってしまって悔しいです。もっと学ぶべき事が沢山あると思いますのでしっかり整理し反省して来期に向けて大きく成長出来る様努力したいと思います。シーズン途中からでしたが応援して下さった皆様ありがとうございました

**◆樺田祐司選手**

日付が変わりグルグル回るオーバルから第6戦ロードコースに場所を移します。が、今回こども僕にとっては初走行となるコースでなかなかうまく攻め切れることが出来ず、予選・決勝ともに納得のいくタイムが出せず、来期に向けて大きな課題を残す結果となりましたが、初のスタートドライバーも経験することが出来ましたし、茂木サーキット経験者にもなれたって事で自分自身のスキルも確実にアップしているのではないかな？と実感しています。今年1年間、第2戦富士のデビューレースから第6戦茂木まで5戦にわたり55号車に乗せて頂いた訳ですが、トラブル・クラッシュ・リタイヤもありましたが、表彰台に上ることもでき良い経験、勉強になった1年だったと思います。この教訓を生かして来年以降も頑張っていけたらな～と思っています。ありがとうございました。

**◆まさやん選手**

こちら初めのコース。当然十分な走行時間があるわけではないので、フリー走行1枠目得た感触を元に、2枠目で各コーナーの走り方を確認し自分なりのペースを確立することを心がけ、そしてレースに挑みました。自分が出走した決勝において、初めてのセカンドスティントを任されることになり、「走行済のマシンを受け取り走ること」「そのマシンを出来るだけいたわってしかもつなぐこと」と今まで任されたスタートドライバーとはまた違った感覚に若干戸惑いました。ただ、はっきりしていたチームの目標は「完走」する事だったので、確実な走行を心がけました。それでも刻一刻と変化していくコース・タイヤの状況に苦勞しつつ何とかつなぐことが出来ました。結果このレースも完走し、前日に続き連続完走を果たせました。今シーズン、良くも悪くも本当に色んな事が起こりましたが、自分にとって勉強ばかりでしたがそれでも「楽しい」初S耐シーズンとなりました。もちろんそれはチームや関係の皆様、応援して頂いた皆様あったことだったと思います。今年一年ありがとうございました。